

科目名	関係法規	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	原 和則	実務経験のある 教員科目	○:該当
科目概要	美容師になるために必要な関係法規・制度について学び、美容師国家試験に合格しうる法的知識を修得することを目的とする。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度 美容師法関係法令集 ワークブック		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施するが、法令の部分の仕組みなどに注意し、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	関係法規ガイダンス	人と社会生活に何故、ルールが必要なのかを学ぶ
第2回目	法制度の概要	法の特徴・形式を学び法治主義の意味と 公衆衛生の重要性を理解する
第3回目	衛生法規・制度の概要	衛生法規が具体的にどう運用されているかを理解する
第4回目	衛生法規の概要と美容師法	衛生行政の分類と美容師法の詳細を学ぶ
第5回目	人と施設に関する規定	美容師法の具体的内容を学習する
第6回目	行政処分と罰則	美容師法の違反例とそのペナルティを知る
第7回目	関連法規	美容業界に関連する様々な法制度を知る
第8回目	国家試験対策①	国家試験合格に向けた練習問題①
第9回目	国家試験対策②	国家試験合格に向けた練習問題②
第10回目	国家試験対策③	国家試験合格に向けた練習問題③
第11回目	法制度関係の復習	復習プリント①を使用して学習
第12回目	衛生行政関係の復習	復習プリント②を使用して学習
第13回目	関連法規の復習	関連法規のまとめプリントを使用して学習
第14回目	国家試験対策④	国家試験合格に向けた練習問題④
第15回目	国家試験対策⑤	国家試験合格に向けた練習問題⑤

科目名	香粧品化学	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2通
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	井上 彰宏	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	香粧品の品質の特性や規則などを学び、取り扱いと安全性を良く理解し様々な基礎香粧品などの構造と色材、使用方法を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 香粧品化学		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、薬品(名前・構造・取り扱い)の基礎知識に対して意識し、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	香粧品概論①	化学の基本
第2回目	香粧品概論②	香粧品の社会的意義と品質特性
第3回目	香粧品概論③	香粧品の規制
第4回目	香粧品概論④	香粧品の安定性と取り扱い上の注意
第5回目	香粧品概論⑤	香粧品と安全性
第6回目	香粧品用原料①	香粧品の対象となる人体各部の性状
第7回目	香粧品用原料②	水性原料、油性原料
第8回目	香粧品用原料③	界面活性剤、高分子化合物
第9回目	香粧品用原料④	色材、香料
第10回目	香粧品用原料⑤	その他の配合成分、ネイル・マツエク用材料
第11回目	香粧品概論①～⑤	復習①
第12回目	香粧品用原料①～⑤	復習②
第13回目	基礎香粧品①	皮膚清掃用香粧品、化粧水
第14回目	基礎香粧品②	クリーム・乳液、その他の基礎香粧品
第15回目	メイクアップ用香粧品①	メイクアップ用香粧品の種類と剤形
第16回目	メイクアップ用香粧品②	ポイントメイクアップ香粧品
第17回目	頭皮・毛髪用香粧品①	シャンプー剤、スタイリング剤
第18回目	頭皮・毛髪用香粧品②	パーマ剤
第19回目	頭皮・毛髪用香粧品③	ヘアカラー剤
第20回目	頭皮・毛髪用香粧品④	育毛剤
第21回目	芳香製品と特殊香粧品	芳香製品、特殊香粧品
第22回目	国家試験対策①	国家試験合格に向けた練習問題①②
第23回目	国家試験対策②	国家試験合格に向けた練習問題③④
第24回目	国家試験対策③	国家試験合格に向けた練習問題⑤⑥
第25回目	国家試験対策④	国家試験合格に向けた練習問題⑦⑧
第26回目	国家試験対策⑤	国家試験合格に向けた練習問題⑨⑩
第27回目	国家試験対策⑥	国家試験合格に向けた練習問題⑪⑫
第28回目	国家試験対策⑦	国家試験合格に向けた練習問題⑬⑭
第29回目	国家試験対策⑧	国家試験合格に向けた練習問題⑮⑯
第30回目	国家試験対策⑨	国家試験合格に向けた練習問題⑰⑱

科目名	衛生管理	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	美容師は多くの人と接する職業であることから、美容業務上で必要不可欠な衛生知識【公衆衛生・予防保健・環境衛生・感染症】を身に付けることで公衆衛生の向上を図る。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 衛生管理		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点(課題提出含む)・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	公衆衛生の概要①	公衆衛生の意義と課題
第2回目	公衆衛生の概要②	消毒法の歴史
第3回目	保健①	母子保健
第4回目	保健②	生活習慣病
第5回目	保健③	身体運動
第6回目	環境衛生①	環境衛生の概要
第7回目	環境衛生②	環境衛生活動
第8回目	環境衛生③	衣服・住居の衛生
第9回目	環境衛生④	上・下水道と廃棄物
第10回目	環境衛生⑤	衛生害虫とネズミ
第11回目	環境衛生⑥	環境保全
第12回目	感染症①	感染症の総論
第13回目	感染症②	感染症の分類
第14回目	感染症③	病原体の身体への侵入・媒介経路による分類
第15回目	試験対策	公衆衛生の意義と課題～環境保全

科目名	衛生管理	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2通
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	三輪 明	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	サロン施設と設備の法に基づく規則など基本知識と予防接種・消毒法・衛生管理を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 衛生管理		
成績評価の方法・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、予防(消毒・管理など)について意識し、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	感染症①	感染症総論～病原体の分類(1年次復習)
第2回目	感染症②	感染症総論～病原体の分類(1年次復習)
第3回目	感染症③	病原微生物
第4回目	感染症④	病原微生物
第5回目	感染症⑤	感染症の予防
第6回目	感染症⑥	感染症の予防
第7回目	感染症⑦	感染症の予防
第8回目	感染症⑧	感染症の各論～理容業・美容業と感染症
第9回目	感染症⑨	感染症の各論～理容業・美容業と感染症
第10回目	感染症⑩	感染症の各論～理容業・美容業と感染症
第11回目	感染症⑪	主な感染症
第12回目	感染症⑫	主な感染症
第13回目	感染症⑬	主な感染症
第14回目	感染症⑭	具体的な対策の例
第15回目	感染症⑮	復習・期末対策
第16回目	衛生管理技術①	消毒法総論
第17回目	衛生管理技術②	消毒法と適用上の注意
第18回目	衛生管理技術③	消毒法各論
第19回目	衛生管理技術④	消毒法各論
第20回目	衛生管理技術⑤	消毒法実習
第21回目	衛生管理技術⑥	消毒薬希釈法
第22回目	衛生管理技術⑦	理容所・美容所の消毒の実際
第23回目	衛生管理の実践例①	理容所及び美容所における衛生管理要領
第24回目	衛生管理の実践例②	理容所及び美容所における衛生管理要領
第25回目	前期の復習	前期の復習
第26回目	国家試験対策①	国家試験合格に向けた練習問題①②
第27回目	国家試験対策②	国家試験合格に向けた練習問題③④
第28回目	国家試験対策③	国家試験合格に向けた練習問題⑤⑥
第29回目	国家試験対策④	国家試験合格に向けた練習問題⑦⑧
第30回目	国家試験対策⑤	国家試験合格に向けた練習問題⑨⑩

科目名	保健	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1通
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	三輪 明	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造や仕組みについて学ぶ。 頭部や顔面をメインに業務に携わる美容技術者として必要な解剖学の基礎知識を理解することを目標とする。 1年次前期は原則オンライン授業とする。 ※1回目～15回目までは、オンライン授業とする。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 保健		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	はじめに	概要
第2回目	頭部、顔部、頸部	人体各部の名称
第3回目	骨格器系①	骨の種類と構造
第4回目	骨格器系②	骨の連結とそのはたらき
第5回目	筋系①	筋の種類とその特徴
第6回目	筋系②	表情筋とそのはたらき
第7回目	神経系①	神経系の成り立ち
第8回目	神経系②	中枢神経と末梢神経
第9回目	感覚器系①	視覚・聴覚
第10回目	感覚器系②	平衡感覚・味覚
第11回目	感覚器系③	嗅覚・皮膚感覚
第12回目	血液・循環器系①	血液のあらまし
第13回目	血液・循環器系②	血液循環の仕組みと経路
第14回目	血液・循環器系③	心臓と血管・リンパ管
第15回目	呼吸器系①	呼吸器系と気道
第16回目	呼吸器系②	肺の仕組みとガス交換
第17回目	消化器系①	消化器系の仕組み
第18回目	消化器系②	消化管のはたらき
第19回目	消化器系③	消化と物質代謝
第20回目	人体の構造復習①	確認テスト
第21回目	人体の構造復習②	まとめと確認テスト
第22回目	皮膚の構造①	皮膚の表面・断面
第23回目	皮膚の構造②	表皮・真皮
第24回目	皮膚の構造③	皮下組織・皮膚の部位差
第25回目	皮膚付属器官の構造①	毛
第26回目	皮膚付属器官の構造②	脂腺
第27回目	皮膚付属器官の構造③	汗腺・爪
第28回目	皮膚の循環器系と神経①	皮膚の血管
第29回目	皮膚の循環器系と神経②	リンパ管と皮膚の神経
第30回目	皮膚の構造復習	まとめ

科目名	保健	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	三輪 明	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	毛髪・爪、皮膚科学及び人体構造・機能をよく理解し、疾患予防など、保健に必要な手当てを施せるように学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 保健		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、各部の構造や機能・疾患などについて意識し、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	1年の復習	1年次の学習内容の復習(皮膚の構造他)①
	1年の復習	1年次の学習内容の復習(皮膚の構造他)②
第2回目	1年の復習	1年次の学習内容の復習(皮膚付属器官の構造他)①
	1年の復習	1年次の学習内容の復習(皮膚付属器官の構造他)②
第3回目	皮膚の循環器系	皮膚の血管 リンパ管
	皮膚の神経系	皮膚の神経
第4回目	皮膚付属器官の生理機能①	対外保護作用 体温調節作用
	皮膚付属器官の生理機能②	知覚作用 分泌排泄作用 吸収作用
第5回目	皮膚付属器官の生理機能③	貯蔵作用 免疫 解毒 排泄作用 ビタミンD形成
	皮膚付属器官の生理機能④	発疹 接触皮膚炎 蕁麻疹 熱傷
第6回目	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態
	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と精神
第7回目	皮膚と皮膚付属器官の疾患①	皮膚と栄養①
	皮膚と皮膚付属器官の疾患②	皮膚と栄養②
第8回目	皮膚と皮膚付属器官の疾患③	皮膚とし好品
	皮膚と皮膚付属器官の疾患④	皮膚と体内病変①(肝臓・腎臓・胃腸)
第9回目	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑤	皮膚と体内病変②(膵臓・他)
	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑥	皮膚の水分と脂の状態
第10回目	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑦	皮膚・付属器官とホルモン①
	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑧	皮膚・付属器官とホルモン②
第11回目	皮膚と皮膚付属器官の疾患①	皮膚と栄養①
	皮膚と皮膚付属器官の疾患②	皮膚と栄養②
第12回目	まとめ	上記のまとめ①
	まとめ	上記のまとめ②
第13回目	国家試験対策	国家試験合格に向けた練習問題①
	国家試験対策	国家試験合格に向けた練習問題②
第14回目	国家試験対策	国家試験合格に向けた練習問題③
	国家試験対策	国家試験合格に向けた練習問題④
第15回目	国家試験対策	国家試験合格に向けた練習問題⑤
	国家試験対策	国家試験合格に向けた練習問題⑥

科目名	技術理論	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1通・2通
授業時数	150時間	単位数	5単位
授業方法	必修	企業等との連携	○:該当
担当教員	高柳 尚史	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	I.技術実習と並行して技術基礎、特殊技術から機械器具の種類・特徴・目的など使用上の注意点を学ぶ。 II.美容にたずさわる手技、エステ・ネイル・メイク・着付け・色彩・トータルの基礎を施術と並行して学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論1 美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目～第3回目	美容技術理論と美容用具	各部の名称、美容道具(コーム・シザーズなど)
第4回目～第5回目	シャンプー①	シャンプー(目的・サイド・バック)
第6回目～第8回目	シャンプー・デザイン	リンス、スカルプトリートメント、幾何学的錯視
第9回目～第10回目	デザイン・ヘアカッティング	デザインの要素、原理・ヘアカッティングの目的、扱い方
第11回目～第13回目	ヘアカッティング②	正しい姿勢、頭部のポイント、スライスと角度
第14回目～第15回目	ヘアカッティング③	ベーシックなカット技法・ベーシックなレザー技法
第16回目～第18回目	パーマネントウェービング	歴史と構造・分類とパーマ剤・ウェーブ技術
第19回目～第20回目	ヘアセッティング①	オリジナルセット・コームの持ち方・ヘアカラーリング
第21回目～第23回目	ヘアセッティング②	カールの様々な分類・ヘアウェービング(手順と構成)
第24回目～第25回目	ヘアセッティング③	ローラーカーリング・ブロードライ
第26回目～第28回目	ヘアセッティング④	アイロン・アップスタイル・ウイッグとヘアピース
第29回目～第30回目	ヘアカラーリング⑤	種類とタイプ別・色の基本・染毛剤注意事項、技術手順
第31回目～第33回目	エステティック①	歴史・皮膚の構造・カウンセリング・マッサージ理論
第34回目～第35回目	エステティック②	フェイシャルケア・デコルテ・ボディケア技術
第36回目～第38回目	ネイル①	技術の種類・爪の構造と機能・爪のカットの形状
第39回目～第40回目	ネイル②	カウンセリング・ケア・マニキュア技術の手順
第41回目～第43回目	ネイル③	ペディキュア技術手順・アーティフィシャルネイル
第44回目～第45回目	ネイル④・メイクアップ①	手と足のマッサージ・顔の構造
第46回目～第48回目	メイクアップ②	メイクアップと色彩・皮膚の生理と構造・スキンケア
第49回目～第50回目	メイクアップ②	ベースメイクアップ・アイメイクアップ
第51回目～第53回目	メイクアップ②	アイブロウメイクアップ・まつ毛エクステンション
第54回目～第55回目	日本髪①	各部の名称・種類と特徴・装飾品
第56回目～第58回目	日本髪②	結髪(道具、技術、手入れ)・かつら
第59回目～第60回目	着付け①	礼装・着物と季節・和装小物
第61回目～第63回目	着付け②	各部の名称・着付けの一般的要領・洋装
第64回目～第65回目	国家試験対策①	国家試験の合格に向けた問題演習
第66回目～第68回目	国家試験対策②	国家試験の合格に向けた問題演習
第69回目～第70回目	国家試験対策③	国家試験の合格に向けた問題演習
第71回目～第73回目	国家試験対策④	国家試験の合格に向けた問題演習
第74回目～第75回目	国家試験対策⑤	国家試験の合格に向けた問題演習

科目名	美容文化論	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1通
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	持箸 来未	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	美容に携わる者として我が国における美容の歴史と文化の形成について考えることを目標とする。また主に髪型・服装等の視点から日本の文化、歴史の理解を深める。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容文化論		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率・提出物等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目 ～ 第2回目	総論	美容文化の概要
第3回目 ～ 第4回目	日本の美容業の歴史①	理容業・美容業の発生・ファッション文化史
第5回目 ～ 第6回目	日本の美容業の歴史②	日本髪
第7回目 ～ 第8回目	日本の美容業の歴史②	和装の礼装①
第9回目 ～ 第10回目	礼装の種類①	和装の礼装②
第11回目 ～ 第12回目	礼装の種類②	和装の礼装③
第13回目 ～ 第14回目	礼装の種類③	洋装の礼装
第15回目 ～ 第16回目	ファッション文化史①	近代(明治・大正・昭和20年まで)①
第17回目 ～ 第18回目	ファッション文化史②	近代(明治・大正・昭和20年まで)②
第19回目 ～ 第20回目	ファッション文化史③	現代Ⅰ～Ⅱ(日本編)①
第21回目 ～ 第22回目	ファッション文化史④	現代Ⅰ～Ⅱ(日本編)②
第23回目 ～ 第24回目	ファッション文化史⑤	現代Ⅲ～Ⅳ(日本編)①
第25回目 ～ 第26回目	ファッション文化史⑥	現代Ⅲ～Ⅳ(日本編)②
第27回目 ～ 第28回目	ファッション文化史⑦	現代Ⅰ～Ⅶ(西洋編)
第29回目 ～ 第30回目	文化論まとめ	まとめ(国家試験についてなど)

科目名	運営管理	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	高柳 尚史	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	これから就職して、自分が独立をしてからサロンを運営して行く時に必要な要素「接客業務そして経営戦略・マーケティング」その後に様々な管理「経営管理・労務管理・健康管理」などの知識が必要になる。スタイリストから経営者になって美容業をして行く中で経営者としての知識・視点・考え方を学び、合わせてわかりやすく解説していく。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 運営管理		
成績評価の方法・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、予習・復習をしっかりと、経営者の視点が理解できるように、お客様のための取り組みという考え方を主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	接客①	現場が求める人、よい社会人であるために
	接客②	お客さまを考える、お客さまに接する
第2回目	接客③	接客とは何か、よい接客を考える
	接客④	よい接客者の基本的要素、接客者の心構え
第3回目	接客⑤	計画の必要性、接客の環境づくり・範囲
	接客⑥	接客の流れとポイント①②③④
第4回目	接客⑦	接客にかかわるトラブル・事故
	接客⑧	接客で発生が予想される問題①②・対処
第5回目	経営戦略・マーケティング①	お客さまに選んでもらうこと、選ばれる難しさ
	経営戦略・マーケティング②	経営戦略の基礎①②、経営者としての感覚を養う
第6回目	経営戦略・マーケティング③	競争の現状・知識、マーケティング・価値つくる・実態
	経営戦略・マーケティング④	満足の姿、価値を形にしていける、マーケティングミックス
第7回目	経営戦略・マーケティング⑤	価値の役割、インターフェイス、情報発信、対話
	経営戦略・マーケティング⑥	物的要因、インターネット、システム化、海外の美容
第8回目	経営管理①	経営の視点、利益、考え方、立場、難しさ
	経営管理②	経営の形態、お金の管理、収支と損益
第9回目	経営管理③	会計の考え方、コスト管理
	経営管理④	税金について、経営者の視点から～まとめ～
第10回目	労務管理①	人という資源の特徴、能力、やる気
	労務管理②	給料、待遇、福利厚生
第11回目	労務管理③	働くものの権利、就業規則、労働規約
	労務管理④	キャリアプラン重要性、義務、自己管理
第12回目	健康管理①	健康の大切さ、仕組み、健康診断の歴史
	健康管理②	健康診断の限界、美容所の特性
第13回目	健康管理③	健康に影響を及ぼす様々な危険、作業と体調
	健康管理④	生活習慣病、予防と治療
第14回目	健康管理⑤	こころの問題、アレルギーについて
	健康管理⑥	指や手荒れ、足のむくみ、腰痛
第15回目	健康管理⑦	膀胱に違和感、食事のリズム
	健康管理⑧	環境と健康、採光、換気、温度・湿度

科目名	社会常識マナー	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	丸山 直美	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	社会人として必要な基本的マナーを習得するためにサロンでの見だしなみ・言葉遣い・談話対応の仕方・接客・カウンセリングなど、実務に即した内容を、実際にロールプレイングして教科書を基に学ぶ。 ※TBMメソッドを含む。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	社会人常識マナー検定2級・3級		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	社会人常識検定テキスト		
成績評価の方法 ・基準	平常点・出席率等及び総合評価テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	サービススタッフの資質	社会人とは、社会人の意識とルール
第2回目	専門知識	コミュニケーションの取り方・気遣い
第3回目	一般常識	挨拶・返事マナー・所作・訪問の仕方
第4回目	対人技能	報・連・相 上司への話かた 指示の受け方
第5回目	実技技能	問題処理・クレーム・金品管理・社交業務
第6回目	実技技能	話し方・聞き方・文字力
第7回目	社会常識	社会人に求められる敬語
第8回目	社会常識	敬語「内外」対応
第9回目	ビジネスマナー	電話応対(かける時)(受ける時)
第10回目	ビジネスマナー	来客応対(受付)(ご案内)席次 訪問準備
第11回目	コミュニケーション	ビジネス文書:仕事のE-mailの出し方
第12回目	コミュニケーション	ビジネス文書:文書の基本型(履歴書)
第13回目	検定対策	検定に向けた問題プリント①
第14回目	検定対策	検定に向けた問題プリント②
第15回目	検定対策	検定に向けた問題プリント③

科目名	英会話	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	ザッカリー ストーン グレイス	実務経験のある教員科目	○:該当
科目概要	英会話は情報の伝達手段として、インターネットでも幅広く使われ、多くの場面で国際的なコミュニケーションが必要になってきています。美容業に携わる人の活躍する場所も日本ばかりではなく海外へとステージが広がり、また、ヘアサロンを訪れる外国人も増え、幅広く対応できる英語スキルの習得が求められるようになりました。日常会話から美容業に関わる接客のコミュニケーションのとり方までを習得します。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	お客様との日常会話の仕方から美容業に関わる接客のコミュニケーションのとり方までを習得が目標。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	ビューティサロン英会話 English Conversation at the Beauty Salon		
成績評価の方法 ・基準	① 日常の受講態度 ② 期末テスト		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、主体的に学習して欲しい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	Welcome to Our Beauty Salon	サロン(受付)でのあいさつの仕方・曜日・時計の読み方・予約の取り方
第2回目	Client Consultation	カウンセリング(ヘアスタイル・カラー・トリートメントなどの確認)
第3回目	Menu Introduction	メニューの紹介・説明
第4回目	Receiving Calls at a Salon	サロンでの電話対応・受付の仕方
第5回目	Shampooing	シャンプー中のお客様との会話
第6回目	Getting a Haircut	ヘアカット カットの種類
第7回目	Color My Hair	ヘアカラー カラー選び
第8回目	Perming	パーマ パーマの種類
第9回目	Treatment	ヘアケアアドバイス(トリートメントなど)
第10回目	Finishing Your Hair Style	仕上げ・ヘアスタイリング剤について
第11回目	Payment Numbers	会計での会話・数字の読み方
第12回目	Giving Directions	道のご案内
第13回目	How to e-mail	Eメールの書き方
第14回目	Job Interview	面接 ポイントアドバイス
第15回目	Review	復習・期末テストの準備

科目名	美容マネジメント	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	松島 広征	実務経験のある 教員科目	○:該当
科目概要	美容マネジメントは、サロンの営業活動を記録、計算、整理する技術であり、サロンの経営成績、財政状態を明らかに報告するものである。講義内容は、サロンを前提としたお金の流れを基に仕訳、勘定記入を通じて一巡の流れを学習する。 ※TBMメソッドを含む。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	日本実務能力検定協会 美容会計検定		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	美容会計検定試験用テキスト		
成績評価の方法 ・基準	平常点・出席率等及び美容会計検定結果を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	簿記一巡の流れⅠ①②	仕訳の基礎、転記・計算表・総勘定元帳
第2回目	簿記一巡の流れⅡ①②	試算表の作成、決算の手続き・精算表の作成
第3回目	美容会計の基本、貸借対照表の役割	美容会計の目的、損益計算書の役割
第4回目	簿記一巡の流れ	仕訳の基礎、転記・計算表・総勘定元帳
第5回目	現金・預金の処理	現金過不足、小切手の仕組み
第6回目	商品売買、その他の債権債務	分記法、債権債務
第7回目	固定資産、収益と費用	固定資産と減価償却、収益と費用
第8回目	個人企業の資本	引出金の処理
第9回目	決算	決算整理
第10回目	決算	決算の手続き・精算表の作成
第11回目	伝票会計	三伝票制、一部現金取引
第12回目	美容会計、サロン経営の特徴	商品売買、サロン経営上の特徴
第13回目	検定対策	検定試験の合格へ向けた問題演習
第14回目	検定対策	検定試験の合格へ向けた問題演習
第15回目	検定対策	検定試験の合格へ向けた問題演習

科目名	キャリアマネジメント	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	学習課題を明確にして、一人ひとりが主体性に取り組み、お互いが協働して解決をし、社会人として必要なコミュニケーション能力、キャリアコンサルティング、キャリア形成の流れを学び、①自己理解・②仕事理解・③啓発的経験・④キャリア計画・⑤方策の実行・⑥新たな仕事へ対応。自分の考えを深めていきます。 美容師国家試験の筆記(関係法規・衛生管理・保健・化粧品化学・運営管理・文化論・技術理論)課題を試験に向けて習得する。各教科の理解(予習・復習)をして知識を深め、国家試験(筆記試験)に臨む。※TBMメソッドを含む。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	能動的(アクティブ)に、より主体的に学習できる人物 厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	職業教育・キャリア教育財団 未来ノート 公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・衛生管理・保健・化粧品化学・運営管理・文化論・技術理論・ワークブック・プリント		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、予習・復習をしっかりとって主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	チーム学習を進めるために	セクション1 「話し合いの意義」
第2回目	自己理解①	セクション1 「私の大切なもの探し」
第3回目	自己理解②	セクション2 「私ってどんな人」
第4回目	自己理解③	セクション3 「自分を知る手がかり」
第5回目	自己理解④	セクション4 「過去を振り返ろう」
第6回目	仕事理解	セクション1 「地図を作ってみよう」
第7回目	仕事理解	セクション2 「ケーススタディで学ぶ実際の仕事」
第8回目	検定対策(解説作成)①	過去問題①:(解説作成・確認テスト)
第9回目	検定対策(解説作成)②	過去問題②:(解説作成・確認テスト)
第10回目	検定対策(解説作成)③	過去問題③:(解説作成・確認テスト)
第11回目	検定対策(解説作成)④	過去問題④:(解説作成・確認テスト)
第12回目	検定対策(解説作成)⑤	過去問題⑤:(解説作成・確認テスト)
第13回目	検定対策(解説作成)⑥	過去問題⑥:(解説作成・確認テスト)
第14回目	検定対策(解説作成)⑦	過去問題⑦:(解説作成・確認テスト)
第15回目	検定対策(解説作成)⑧	過去問題⑧:(解説作成・確認テスト)

科目名	筆記対策	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後・2後
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	櫻澤 哲文	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	美容師国家試験の筆記(関係法規・衛生管理・保健・化粧品化学・運営管理・文化論・技術理論)課題を試験へ向けて習得する。各教科の理解(予習・復習)をして知識を深め、国家試験(筆記試験)に臨む。 ※TBM method(7つのワーク)を含む。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・衛生管理・保健・化粧品化学・運営管理・文化論・技術理論・ワークブック・プリント		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、予習・復習をしっかりと主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目 ～ 第2回目	技術理論①文化論①	技術理論①「序章～4章」(解説作成・確認テスト) 文化論①「第1章～2章」(解説作成・確認テスト)
第3回目 ～ 第4回目	技術理論②文化論②	技術理論②「5章～7章」(解説作成・確認テスト) 文化論②「第3章①」(解説作成・確認テスト)
第5回目 ～ 第6回目	技術理論③文化論③	技術理論③「8章～10章」(解説作成・確認テスト) 文化論③「第3章～第4章」(解説作成・確認テスト)
第7回目 ～ 第8回目	技術理論④文化論④	技術理論④「11章～12章」(解説作成・確認テスト) 文化論④「第4章」(解説作成・確認テスト)
第9回目 ～ 第10回目	関係法規・制度①運営管理①	法制度の概要:経営者の視点(解説作成・確認テスト)
第11回目 ～ 第12回目	関係法規・制度②運営管理②	衛生行政も概要:人という資源(解説作成・確認テスト)
第13回目 ～ 第14回目	関係法規・制度③運営管理③	理容師法・美容師法:顧客のために(解説作成・確認テスト)
第15回目 ～ 第16回目	衛生管理①	公衆衛生:環境衛生①(解説作成・確認テスト)
第17回目 ～ 第18回目	衛生管理②	環境衛生②:感染症①(解説作成・確認テスト)
第19回目 ～ 第20回目	衛生管理③	感染症②:衛生管理技術(解説作成・確認テスト)
第21回目 ～ 第22回目	保健①	人体の構造および機能①「第1章～第6章」(解説作成・確認テスト)
第23回目 ～ 第24回目	保健②	人体の構造および機能②「第7章～第12章」(解説作成・確認テスト)
第25回目 ～ 第26回目	保健③	皮膚科学「第1章～6章」(解説作成・確認テスト)
第27回目 ～ 第28回目	化粧品化学①	化粧品化学「第1章～第3章」(解説作成・確認テスト)
第29回目 ～ 第30回目	化粧品化学②	化粧品化学「第4章～第6章」(解説作成・確認テスト)

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 スキアルブマッサージ・シャンプーブローができる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	シャンプー	タオル、クロスかけ、頭皮チェック、ブラッシング	
第2回目	シャンプー	スキアルブマッサージ。軽擦法。強擦法。柔擦法。 振動法。打法。圧迫法。	
第3回目	シャンプー	スキアルブマッサージ。ブラッシング	
第4回目	シャンプー	スキアルブマッサージ、ブラッシング	○
第5回目	シャンプー	シャンプー流し	
第6回目	シャンプー	ファーストシャンプー(ワンシャン)タオルターバン	
第7回目	シャンプー	セカンドシャンプー①(ツーシャン)タオルターバン	
第8回目	シャンプー	セカンドシャンプー②(ツーシャン)タオルターバン	○
第9回目	シャンプー	お客さまの誘導～タオル、クロス～ブラッシング ～ツーシャン、タオルターバン①	
第10回目	シャンプー	お客さまの誘導～タオル、クロス～ブラッシング ～ツーシャン、タオルターバン②	
第11回目	シャンプー	お客さまの誘導～タオル、クロス～ブラッシング ～ツーシャン、タオルターバン③	○
第12回目	シャンプー	ウィッグでブロー	
第13回目	シャンプー	シャンプーブロー①	
第14回目	シャンプー	シャンプーブロー②	
第15回目	シャンプー	シャンプーブロー③	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 カラーシャンプーまでできる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第16回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー①	
第17回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー②	
第18回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー③	
第19回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー④	
第20回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー⑤	○
第21回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー⑥	
第22回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー⑦	
第23回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー⑧	
第24回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー⑨	
第25回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー⑩	○
第26回目	シャンプー	ヘアアイロンの使い方	
第27回目	シャンプー	ヘアアイロンの使い方	○
第28回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー、スタイリング①	
第29回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー、スタイリング②	
第30回目	シャンプー	お客さまの誘導～ワンシヤン、ツーシヤン、タオルターバン、ブロー、スタイリング③	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・シャンプーの基礎技術を習得する。 ・サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 髪質や長さに対応したシャンプーブローができる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第31回目	シャンプー	1年生の復習シャンプー①	
第32回目	シャンプー	1年生の復習シャンプー②	
第33回目	シャンプー	1年生の復習シャンプー③	○
第34回目	シャンプー	シャンプードライ①	
第35回目	シャンプー	シャンプードライ②	
第36回目	シャンプー	シャンプードライ③	○
第37回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー④	
第38回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー⑤	
第39回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー⑥	
第40回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー⑦	
第41回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー⑧	○
第42回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー&アイロン⑨	
第43回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー&アイロン⑩	
第44回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー&アイロン⑪	
第45回目	シャンプー	髪質や長さに対応したシャンプーブロー&アイロン⑫	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	松林 栄子	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 日本髪が40分で作れるようになる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりとし、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	HA(ヘア)	・アップスタイル、セットに必要な道具の知識(黒ゴム、使いやすく切っておく) ・束ねる(トップ、ネープ、サイド、ハーフ) ・ピンニング(外止め、平止め、平行止め)	
第2回目	HA(ヘア)	表、裏編み込み。ねじり、ローブ編み	
第3回目	HA(ヘア)	ウォーターフォール。コテ巻きの使い方	
第4回目	HA(ヘア)	ホットカラーを使ってアップスタイルを作る	○
第5回目	HA(ヘア)	ブライダル風アップスタイルを作る	
第6回目	HA(ヘア)	和髪アップスタイルを作る(すき毛を使う)	
第7回目	HA(ヘア)	日本髪 すき毛作り	
第8回目	HA(ヘア)	ブロッキング、根	○
第9回目	HA(ヘア)	髷	
第10回目	HA(ヘア)	髷	
第11回目	HA(ヘア)	前髪	
第12回目	HA(ヘア)	髷	
第13回目	HA(ヘア)	かざりの作り方(かのか)	○
第14回目	HA(ヘア)	ブロッキングからタイム(40分) ※日本髪	
第15回目	HA(ヘア)	確認試験 ブロッキングからタイム(40分)	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	松林 栄子 ・ 秋山 美絵	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	前期の基礎をもとにセット&アップスタイルの基本テクニックをみつける。 スタイルをつくる行程の中で技術を実践的に身につける。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
	公衆衛生学や伝染病を基礎として眼及びまつげなどの眼付属器官を理解し まつげエクステンションの施術に係る技術の理論・施術に係る説明を学習する。※TBM method(7つのワーク)を含む。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	夜会巻きが40分で作れるようになる。	ウィッグにテーピング・リムービング・装着ができるようにする。	
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、技術確認		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりし、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	HA(ヘア)	和装アップスタイル	
第2回目	HA(ヘア)	和装アップスタイル(仕上がりの確認)	
第3回目	HA(ヘア)	夜会巻 すき毛を作り、ブロッキング	
第4回目	HA(ヘア)	夜会巻 サイド、トップ、仕上げ	
第5回目	HA(ヘア)	夜会巻 40分で仕上げる	○
第6回目	HA(ヘア)	自由にアップスタイルを作る(構成など考える)	
第7回目	HA(ヘア)	仕上げる(セット&アップスタイルの基本的テクニックの確認)	
第1回目	まつエク	衛生・テーブルセッティング・道具説明①	
第2回目	まつエク	衛生・テーブルセッティング・道具説明②	○
第3回目	まつエク	テーピング・グルーのとり方(紙に)・目について①	
第4回目	まつエク	テーピング・グルーのとり方(紙に)・目について②	
第5回目	まつエク	かき分け・グルーの取り扱い・装着練習・睫毛について①	
第6回目	まつエク	かき分け・グルーの取り扱い・装着練習・睫毛について②	○
第7回目	まつエク	装着練習・リムービング・カウンセリング①	
第8回目	まつエク	装着練習・リムービング・カウンセリング②	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	WD(ワインディング)	クランプ・机の上・ウィッグの扱い方・洗い方など	
第2回目	WD(ワインディング)	コームで縦、横の線を取り、ブロッキングしてみる	
第3回目	WD(ワインディング)	センターのフロント・2つ目をとってみる	
第4回目	WD(ワインディング)	センターブロッキング繰り返し	
第5回目	WD(ワインディング)	ブロッキング「デザイン巻き」センター・左右	
第6回目	WD(ワインディング)	12ブロッキング「デザイン巻き」全頭作成 その後:上巻き①	
第7回目	WD(ワインディング)	12ブロッキング「デザイン巻き」全頭作成 その後:上巻き②	○
第8回目	WD(ワインディング)	12ブロッキングタイム「デザイン巻き」(15分)計測、その後:上巻き	
第9回目	WD(ワインディング)	12ブロッキング タイム「デザイン巻き」(13分)計測 その後:上巻き	○
第10回目	WD(ワインディング)	12ブロッキングタイム「デザイン巻き」(10分)計測 その後:下巻き①	
第11回目	WD(ワインディング)	12ブロッキングタイム「デザイン巻き」(10分)計測 その後:下巻き②	○
第12回目	WD(ワインディング)	12ブロッキングタイム「デザイン巻き」(10分)計測 その後:上下巻き	
第13回目	WD(ワインディング)	12ブロッキング「デザイン巻き」確認テスト10分:計測	
第14回目	WD(ワインディング)	12ブロッキング タイム(10分)計測 その後センターと右側を巻く①	
第15回目	WD(ワインディング)	12ブロッキング タイム(10分)計測 その後センターと右側を巻く②	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第16回目	WD(ワインディング)	センターを残したままで左右サイド①	
第17回目	WD(ワインディング)	センターを残したままで左右サイド②	
第18回目	WD(ワインディング)	ブロッキングから全頭	○
第19回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る60分①	
第20回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る60分②	
第21回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る59分	
第22回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る58分	
第23回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る57分	
第24回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る56分	
第25回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る55分	○
第26回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る54分	
第27回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る53分	
第28回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る52分	
第29回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る51分	
第30回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分 テスト時間にする	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第31回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分①	
第32回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分②	
第33回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分③	
第34回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分④	○
第35回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑤	
第36回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑥	
第37回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑦	
第38回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑧	○
第39回目	WD(ワインディング)	50分テスト(ブロッキング含み)	
第40回目	WD(ワインディング)	巻き方と構成の確認(きれい巻き)①	
第41回目	WD(ワインディング)	巻き方と構成の確認(きれい巻き)②	
第42回目	WD(ワインディング)	巻き方と構成の確認(きれい巻き)③	
第43回目	WD(ワインディング)	巻き方と構成の確認(きれい巻き)④	
第44回目	WD(ワインディング)	巻き方と構成の確認(きれい巻き)⑤	
第45回目	WD(ワインディング)	巻き方と構成の確認(きれい巻き)⑥	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第46回目	WD(ワインディング)	巻き方と構成の確認(きれい巻き)⑦	
第47回目	WD(ワインディング)	巻き方と構成の確認(きれい巻き)⑧	○
第48回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑨	
第49回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑩	
第50回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑪	
第51回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑫	
第52回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑬	
第53回目	WD(ワインディング)	全頭を時間で計る50分⑭	○
第54回目	WD(ワインディング)	パーマワインディングのためのブロックングとWD	
第55回目	WD(ワインディング)	パーマワインディングの練習①	
第56回目	WD(ワインディング)	パーマワインディングの練習②	
第57回目	WD(ワインディング)	パーマワインディングの練習③	○
第58回目	WD(ワインディング)	ウィッグパーマの実際①	
第59回目	WD(ワインディング)	ウィッグパーマの実際②	
第60回目	WD(ワインディング)	ウィッグパーマの実際③	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 54回目の確認テストで、国家試験に合格する完成度で45分以内に巻ける		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりとし、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第61回目	WD(ワインディング)	全頭48分タイム①	
第62回目	WD(ワインディング)	全頭48分タイム②	
第63回目	WD(ワインディング)	全頭47分タイム①	
第64回目	WD(ワインディング)	全頭47分タイム②	○
第65回目	WD(ワインディング)	全頭46分タイム①	
第66回目	WD(ワインディング)	全頭46分タイム②	
第67回目	WD(ワインディング)	全頭45分タイム①	
第68回目	WD(ワインディング)	全頭45分タイム②	○
第69回目	WD(ワインディング)	全頭45分確認テスト	
第70回目	WD(ワインディング)	全頭44分タイム①	
第71回目	WD(ワインディング)	全頭44分タイム②	
第72回目	WD(ワインディング)	全頭43分タイム①	
第73回目	WD(ワインディング)	全頭43分タイム②	○
第74回目	WD(ワインディング)	全頭42分タイム	
第75回目	WD(ワインディング)	全頭41分タイム	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 72回目の確認テストで、国家試験に合格する完成度で35分以内に巻ける		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりとし、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第76回目	WD(ワインディング)	全頭40分タイム①	
第77回目	WD(ワインディング)	全頭40分タイム②	○
第78回目	WD(ワインディング)	全頭40分確認テスト	
第79回目	WD(ワインディング)	全頭35分タイム①	
第80回目	WD(ワインディング)	全頭35分タイム②	
第81回目	WD(ワインディング)	全頭35分タイム③	○
第82回目	WD(ワインディング)	全頭35分タイム④	
第83回目	WD(ワインディング)	全頭35分タイム⑤	
第84回目	WD(ワインディング)	全頭35分タイム⑥	
第85回目	WD(ワインディング)	全頭35分タイム⑦	○
第86回目	WD(ワインディング)	全頭35分タイム⑧	
第87回目	WD(ワインディング)	全頭35分確認テスト	
第88回目	WD(ワインディング)	全頭30分タイム×2回①	
第89回目	WD(ワインディング)	全頭30分タイム×2回②	
第90回目	WD(ワインディング)	全頭30分タイム×2回③	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験 90回目の確認テストで、国家試験に合格する完成度で23分以内に巻ける		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第91回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)①	
第92回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)②	
第93回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)③	○
第94回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)④	
第95回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)⑤	
第96回目	WD(ワインディング)	全頭25分タイム×2回①	
第97回目	WD(ワインディング)	全頭25分タイム×2回②	
第98回目	WD(ワインディング)	全頭25分タイム×2回③	○
第99回目	WD(ワインディング)	全頭25分タイム×2回④	
第100回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回①	
第101回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回②	
第102回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回③	○
第103回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回④	
第104回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回⑤	
第105回目	WD(ワインディング)	全頭23分確認テスト	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	櫻澤 哲文	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験 90回目の確認テストで、国家試験に合格する完成度で23分以内に巻ける		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第106回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)①	○
第107回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)②	
第108回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)③	○
第109回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)④	
第110回目	WD(ワインディング)	構成の確認(デザイン巻き)⑤	○
第111回目	WD(ワインディング)	全頭25分タイム×2回①	
第112回目	WD(ワインディング)	全頭25分タイム×2回②	
第113回目	WD(ワインディング)	全頭25分タイム×2回③	
第114回目	WD(ワインディング)	全頭25分タイム×2回④	○
第115回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回①	
第116回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回②	
第117回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回③	
第118回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回④	
第119回目	WD(ワインディング)	全頭23分タイム×3回⑤	○
第120回目	WD(ワインディング)	全頭23分確認テスト	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 1段目以外の7段構成を25分でできる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	AW(オールウェーブ)	ウィッグパーマ(ワインディング)	
第2回目	AW(オールウェーブ)	ウィッグパーマ(薬液塗布)①	
第3回目	AW(オールウェーブ)	ウィッグパーマ(薬液塗布)②	
第4回目	AW(オールウェーブ)	ウェーブとは…(オープン・コームの持ち方・指示の動かし方・ローションのつけ方・梳かし方)	
第5回目	AW(オールウェーブ)	右流れ・左流れ(平行移動) ハーフウェーブ	○
第6回目	AW(オールウェーブ)	リッジの作り方	
第7回目	AW(オールウェーブ)	リッジのつなぎ方	
第8回目	AW(オールウェーブ)	バックのみ5段構成	○
第9回目	AW(オールウェーブ)	5段構成 タイム練習	
第10回目	AW(オールウェーブ)	1段目分け取り・2段目～ウェーブ(サイドも…)	
第11回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(耳上の作り方)	
第12回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(1段目以外)	○
第13回目	AW(オールウェーブ)	クロッキノールカール説明・ピンの持ち方・開き方	
第14回目	AW(オールウェーブ)	2段目～6段目(ウェーブ) 7段目(クロッキノール)タイム練習(25分)	○
第15回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(1段目以外)確認試験(25分)	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 29回目で4段目のリフトカールまでできる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第16回目	AW(オールウェーブ)	前期の復習・ウェーブ3等分①	
第17回目	AW(オールウェーブ)	前期の復習・ウェーブ3等分②	
第18回目	AW(オールウェーブ)	カール説明(ウェーブとの関係)① スカルプチュアカール	
第19回目	AW(オールウェーブ)	カール説明(ウェーブとの関係)② スカルプチュアカール	○
第20回目	AW(オールウェーブ)	スカルプチュアカール①	
第21回目	AW(オールウェーブ)	スカルプチュアカール②	
第22回目	AW(オールウェーブ)	1段目の説明・スカルプチュアカール①	
第23回目	AW(オールウェーブ)	1段目の説明・スカルプチュアカール②	
第24回目	AW(オールウェーブ)	スキップウェーブ説明・(2段目・3段目)①	
第25回目	AW(オールウェーブ)	スキップウェーブ説明・(2段目・3段目)②	○
第26回目	AW(オールウェーブ)	クロックワイズワインドカール(リフトカール)①	
第27回目	AW(オールウェーブ)	クロックワイズワインドカール(リフトカール)②	
第28回目	AW(オールウェーブ)	クロックワイズワインドカール(リフトカール)③	
第29回目	AW(オールウェーブ)	クロックワイズワインドカール(リフトカール)④	○
第30回目	AW(オールウェーブ)	カウンタークロックワイズ(リフトカール)	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	海老原 恵利人	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 すべてのカールができ、7段構成を50分で作ることができる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第31回目	AW(オールウェーブ)	カウンタークロックワイズ(リフトカール)①	
第32回目	AW(オールウェーブ)	カウンタークロックワイズ(リフトカール)②	
第33回目	AW(オールウェーブ)	カウンタークロックワイズ(リフトカール)③	○
第34回目	AW(オールウェーブ)	メイポールカール(説明・練習)①	
第35回目	AW(オールウェーブ)	メイポールカール(説明・練習)②	○
第36回目	AW(オールウェーブ)	メイポールカール①	
第37回目	AW(オールウェーブ)	メイポールカール②	○
第38回目	AW(オールウェーブ)	クロッキノールカール(前期復習)①	
第39回目	AW(オールウェーブ)	クロッキノールカール(前期復習)②	○
第40回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)①	
第41回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)②	
第42回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)③	○
第43回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)④	○
第44回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)確認試験①	
第45回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)確認試験②	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	櫻澤 哲文	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更の予定予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 ・25分のタイムに入れることができる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第46回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)①	
第47回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)②	
第48回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)③	○
第49回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム50分)④	
第50回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム40分)⑤	
第51回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム40分)⑥	
第52回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム40分)⑦	○
第53回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム40分)⑧	
第54回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム30分)⑨	
第55回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム30分)⑩	○
第56回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム30分)確認試験	
第57回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)①	
第58回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)②	○
第59回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)③	
第60回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)④	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	櫻澤 哲文	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 各カールの理解ができる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第61回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑤	
第62回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑥	○
第63回目	AW(オールウェーブ)	7段構成確認①	
第64回目	AW(オールウェーブ)	7段構成確認②	
第65回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑦	
第66回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑧	○
第67回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑨	
第68回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑩	○
第69回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)確認試験	
第70回目	AW(オールウェーブ)	1段目構成確認	○
第71回目	AW(オールウェーブ)	2段目ウェーブ構成確認	○
第72回目	AW(オールウェーブ)	スカルプチュアカール構成確認	○
第73回目	AW(オールウェーブ)	クロックワイズワインドカール (リフトカール)	
第74回目	AW(オールウェーブ)	カウンタークロックワイズワインドカール (リフトカール)	
第75回目	AW(オールウェーブ)	メイポールカール	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	櫻澤 哲文	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニクに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 国家試験レベルの作品を25分で作れる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第76回目	AW(オールウェーブ)	クロッキノールカール	
第77回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム30分)⑪	
第78回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム30分)⑫	
第79回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑬	○
第80回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑭	
第81回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)確認試験	
第82回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑮	
第83回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑯	○
第84回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)確認試験	
第85回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑰	
第86回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑱	○
第87回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)確認試験	
第88回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑲	
第89回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)⑳	○
第90回目	AW(オールウェーブ)	7段構成(タイム25分)確認試験	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	櫻澤 哲文	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンパーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 7スタイルのカット理解・習得		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりと、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	CT(カット)	ハサミ・コームの持ち方・動かし方・姿勢・スライスの種類等	○
第2回目	CT(カット)	シザーワーク① (セクションの分け方や横切り、縦切りの練習)	○
第3回目	CT(カット)	シザーワーク② (セイムレングスに挑戦)	
第4回目	CT(カット)	シザーワーク③ (毛量調整・質感調整)	
第5回目	CT(カット)	シザーワーク④ (指一本分・刈り上げに挑戦)	
第6回目	CT(カット)	レザークット (魔ウィッグを使用・技法・スタイルカットに挑戦)	○
第7回目	CT(カット)	ワンレングス① (長め設定・台座下4cm)	
第8回目	CT(カット)	サイドグラデーション・サイドレイヤー (フェイスラインetc.)	
第9回目	CT(カット)	ワンレングス② (短め設定・台座上2センチcm・イングラ)	○
第10回目	CT(カット)	グラデーションボブ① (オキシピタルボーンから床に対して45度)	
第11回目	CT(カット)	グラデーションボブ② (ネープポイントから床に対して45度)	
第12回目	CT(カット)	スクエアレイヤー (フロントの長さに合わせる)	
第13回目	CT(カット)	セイムレングス① (トップから8cmでネープにつなげる)	○
第14回目	CT(カット)	セイムレングス② (ネープから6cmでトップにつなげる)	
第15回目	CT(カット)	メンズショートスタイル (刈り上げ)	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	櫻澤 哲文	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 時間内に正確なカットができる		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、準備(服装、道具など)の部分をしっかりとし、教えて技術を向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第16回目	CT(カット)	ブロッキング練習(10分間でとる練習)	○
第17回目	CT(カット)	全頭カット-2cm(アウトライン、ネープ)	
第18回目	CT(カット)	全頭カット-2cm(ミドルトップ)	
第19回目	CT(カット)	全頭カット-2cm(サイド)	
第20回目	CT(カット)	全頭カット-2cm(チェックカット)	
第21回目	CT(カット)	全頭50分トリミング	
第22回目	CT(カット)	シザーワーク(刈り上げまで)	○
第23回目	CT(カット)	ブロッキング練習(10分間試験)	
第24回目	CT(カット)	全頭カット-2cm(アウトライン、ネープ、ミドル、トップ)	
第25回目	CT(カット)	全頭カット-2cm(サイド、チェックカット)	
第26回目	CT(カット)	全頭40分トリミング	
第27回目	CT(カット)	シザーワーク(刈り上げまで)	○
第28回目	CT(カット)	全頭カット(40分-2cm)	
第29回目	CT(カット)	シザーワーク(刈り上げまで)	
第30回目	CT(カット)	全頭カット(40分-2cm試験)	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 国家試験実技第1課題カッティングを時間内に手順通りカットできる		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第31回目	CT(カット)	全体概要・動画教材確認	○
第32回目	CT(カット)	板書・ブロッキング練習(10分間での練習)	
第33回目	CT(カット)	アウトラインのカット及びトリミング	
第34回目	CT(カット)	ネープのカット及びトリミング	
第35回目	CT(カット)	ミドルトップのカット及びトリミング	
第36回目	CT(カット)	サイドのカット及びトリミング	
第37回目	CT(カット)	つながりチェックカット及び全頭トリミング	
第38回目	CT(カット)	全頭カット-2cm	
第39回目	CT(カット)	シザーワーク(ショートセイム)	○
第40回目	CT(カット)	シザーワーク(刈り上げ)	
第41回目	CT(カット)	全頭カット-2cm(40分)	○
第42回目	CT(カット)	シザーワーク(ショートセイム)	
第43回目	CT(カット)	全頭カット(50分)	
第44回目	CT(カット)	全頭カット-2cm(40分)	
第45回目	CT(カット)	シザーワーク(ショートセイム～刈り上げまで)	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 国家試験実技第1課題カッティングを時間内に手順通りカットできる(顔拭き、卓上チェック、血液チェック)		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第46回目	CT(カット)	全頭カット50分	
第47回目	CT(カット)	全頭カット40分トリミング	○
第48回目	CT(カット)	全頭カット40分、トリミング30分①	
第49回目	CT(カット)	全頭カット40分-2cm①	
第50回目	CT(カット)	全頭カット40分、トリミング30分②	
第51回目	CT(カット)	全頭カット40分-2cm②	○
第52回目	CT(カット)	全頭カット20分、トリミング15分①	
第53回目	CT(カット)	全頭カット20分-2cm①	
第54回目	CT(カット)	全頭カット20分、トリミング15分②	
第55回目	CT(カット)	全頭カット20分-2cm②	○
第56回目	CT(カット)	全頭カット20分、トリミング15分③	
第57回目	CT(カット)	全頭カット20分-2cm③	
第58回目	CT(カット)	全頭カット20分、トリミング15分④	
第59回目	CT(カット)	全頭カット20分-2cm④	○
第60回目	CT(カット)	全頭カット20分、トリミング15分⑤	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2前
授業時数	240時間	単位数	8単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	・美容師国家試験課題であるカット・ワインディング・オールウェーブセッティングの技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての実技と筆記を習得。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 技術60点レベル・筆記ワークブック全解説・まとめノート作成		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第2回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	○
第3回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第4回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第5回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	○
第6回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第7回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第8回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	○
第9回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第10回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第11回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	○
第12回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第13回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	
第14回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	○
第15回目	国家試験対策	WD/AW/CT(規定タイム)・ワークブック解説	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	・美容師国家試験課題であるカット・ワインディング・オールウェーブセッティングの技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての衛生実技を習得。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 実技試験の流れを理解している		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第16回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)における必要な用具①	
第17回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)における用具の準備②	○
第18回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)における用具の注意点	
第19回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)における身だしなみ	
第20回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)における準備の手順	○
第21回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)における片づけの手順	
第22回目	国家試験対策	実技試験における衛生実技項目の減点ポイント①	
第23回目	国家試験対策	実技試験における衛生実技項目の減点ポイント②	○
第24回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション①	
第25回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション②	
第26回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション③	○
第27回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション④	
第28回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑤	
第29回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑥	○
第30回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑦	

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・美容師国家試験課題であるカット・ワインディング・オールウェーブセッティングの技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての衛生実技を習得。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 実技試験の流れと減点ポイントを全て理解している		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	一斉授業を基本に実施する。衛生項目の準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第31回目	国家試験対策	実技試験における衛生実技項目の減点ポイント①	
第32回目	国家試験対策	実技試験における衛生実技項目の減点ポイント②	
第33回目	国家試験対策	実技試験における衛生実技項目の減点ポイント③	○
第34回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑧	
第35回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑨	
第36回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑩	○
第37回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑪	
第38回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑫	
第39回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑬	○
第40回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑭	
第41回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑮	
第42回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑯	○
第43回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑰	
第44回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑱	
第45回目	国家試験対策	実技試験(衛生実技含む)シミュレーション⑲	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method (7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 15回目にはAW7段構成を24分で作れるようになる		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測25分)確認試験	
第2回目	第2課題AW	1段目とウェーブで10分 3段目スカルプチュアカール3分	○
第3回目	第2課題AW	4段目クロックワイズワインドカール3分 5段目カウンタークロックワイズワインドカール3分	○
第4回目	第2課題AW	メイボールカール・クロッキノールカール4分30秒	○
第5回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)①	
第6回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)②	
第7回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)③	○
第8回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)④	
第9回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)⑤	
第10回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)確認試験	
第11回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)⑥	
第12回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)⑦	○
第13回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)⑧	
第14回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)⑨	
第15回目	第2課題AW	7段構成(タイム計測24分)⑩	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method (7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 国家試験の流れを理解し、24分で作品を作ることができる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第16回目	第2課題AW	国家試験実技試験における必要な用具	
第17回目	第2課題AW	国家試験実技試験における用具の準備	
第18回目	第2課題AW	国家試験実技試験における用具の注意点	
第19回目	第2課題AW	国家試験実技試験における身だしなみ	○
第20回目	第2課題AW	国家試験実技試験における準備の手順	
第21回目	第2課題AW	国家試験実技試験における片づけの手順	
第22回目	第2課題AW	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント①	
第23回目	第2課題AW	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント②	○
第24回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション①	
第25回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション②	
第26回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション③	○
第27回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション④	
第28回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑤	
第29回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑥	
第30回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑦	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method (7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 国家試験の合格基準の理解(技術・衛生共に)		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第46回目	第2課題AW	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント⑥	
第47回目	第2課題AW	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント⑦	
第48回目	第2課題AW	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント⑧	○
第49回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑩	
第50回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑪	
第51回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑫	○
第52回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑬	
第53回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑭	
第54回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑮	○
第55回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑯	
第56回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑰	
第57回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑱	○
第58回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑲	
第59回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑳	
第60回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション㉑	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 国家試験の合格基準の理解(技術・衛生共に)		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第31回目	第2課題AW	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント③	
第32回目	第2課題AW	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント④	
第33回目	第2課題AW	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント⑤	○
第34回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑧	
第35回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑨	
第36回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑩	○
第37回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑪	
第38回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑫	
第39回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑬	○
第40回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑭	
第41回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑮	
第42回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑯	○
第43回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑰	
第44回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑱	
第45回目	第2課題AW	国家試験実技準備シミュレーション⑲	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method (7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 20分でシンメトリーに作ることができる。		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目	第2課題WD	センター構成確認 (オンベース・1/2オフベース・オフベース)	○
第2回目	第2課題WD	フロント構成確認 (オンベース・1/2オフベース・オフベース)	○
第3回目	第2課題WD	右バックサイド・サイド構成確認 (オンベース・1/2オフベース・オフベース)	○
第4回目	第2課題WD	左バックサイド・サイド 構成確認(オンベース・1/2オフベース・オフベース)	○
第5回目	第2課題WD	全頭20分タイム×2回 シンメトリー①	
第6回目	第2課題WD	全頭20分タイム×2回 シンメトリー②	
第7回目	第2課題WD	全頭20分タイム×2回 シンメトリー③	
第8回目	第2課題WD	全頭20分タイム×2回 シンメトリー④	○
第9回目	第2課題WD	全頭20分タイム×3回 シンメトリー①	
第10回目	第2課題WD	全頭20分タイム×3回 シンメトリー②	
第11回目	第2課題WD	全頭20分タイム×3回 シンメトリー③	
第12回目	第2課題WD	全頭20分タイム×3回 シンメトリー④	○
第13回目	第2課題WD	全頭20分タイム×3回 シンメトリー⑤	
第14回目	第2課題WD	全頭20分タイム×3回 シンメトリー⑥	
第15回目	第2課題WD	全頭20分タイム×3回 シンメトリー⑦	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある 教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method (7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 実技試験の流れと減点ポイントを全て理解している		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第16回目	第2課題WD	国家試験実技試験における必要な用具	
第17回目	第2課題WD	国家試験実技試験における用具の準備	
第18回目	第2課題WD	国家試験実技試験における用具の注意点	
第19回目	第2課題WD	国家試験実技試験における身だしなみ	○
第20回目	第2課題WD	国家試験実技試験における準備の手順	
第21回目	第2課題WD	国家試験実技試験における片づけの手順	
第22回目	第2課題WD	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント①	
第23回目	第2課題WD	国家試験実技試験における衛生項目の減点ポイント②	○
第24回目	第2課題WD	国家試験実技準備シミュレーション①	
第25回目	第2課題WD	国家試験実技準備シミュレーション②	
第26回目	第2課題WD	国家試験実技準備シミュレーション③	
第27回目	第2課題WD	国家試験実技準備シミュレーション④	○
第28回目	第2課題WD	国家試験実技準備シミュレーション⑤	
第29回目	第2課題WD	国家試験実技準備シミュレーション⑥	
第30回目	第2課題WD	国家試験実技準備シミュレーション⑦	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method (7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 実技試験の流れと減点ポイントを全て理解している		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第31回目	第2課題WD	実技試験における衛生項目の減点ポイント③	
第32回目	第2課題WD	実技試験における衛生項目の減点ポイント④	
第33回目	第2課題WD	実技試験における衛生項目の減点ポイント⑤	○
第34回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑧	
第35回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑨	
第36回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑩	○
第37回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑪	
第38回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑫	
第39回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑬	○
第40回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑭	
第41回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑮	
第42回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑯	○
第43回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑰	
第44回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑱	
第45回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑲	○

科目名	美容実習	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	210時間	単位数	7単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	・ワインディング・カット・オールウェーブセッティング・シャンプーなど基礎技術を習得する。 ・美容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに対応できる為の実践技術を学ぶ。 ※オンライン授業を含む。 ※TBM method (7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格 実技試験の流れと減点ポイントを全て理解している		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	美容実習の履修時間、日常の受講態度、学期末試験成績		
履修に当たっての留意点	一斉授業を基本に実施する。準備(服装、道具など)を怠らず、向上心をもって学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第46回目	第2課題WD	実技試験における衛生項目の減点ポイント⑥	
第47回目	第2課題WD	実技試験における衛生項目の減点ポイント⑦	
第48回目	第2課題WD	実技試験における衛生項目の減点ポイント⑧	○
第49回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑩	
第50回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑪	
第51回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑫	
第52回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑬	○
第53回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑭	
第54回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑮	
第55回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑯	
第56回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑰	○
第57回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑱	
第58回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑲	
第59回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション⑳	
第60回目	第2課題WD	実技準備シミュレーション㉑	○

科目名	国家試験対策Ⅱ	学科名	国際美容師学科
分類	必修	配当年次・学期	2後
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当
担当教員	倉賀野 正彦	実務経験のある教員科目	○:該当 ○
科目概要	美容師国家試験筆記対策として過去問題・ワークブック・教員作問等の試験を実施して解説を作成。 ※TBM method(7つのワーク)は、授業の進捗・到達度合いにより変更予定あり。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 美容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 美容師実技試験 筆記過去問題 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 1・美容技術理論2		
成績評価の方法・基準	履修時間、日常の受講態度、解説提出		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、解説を通して問題の傾向を理解して対策してほしい。		

授業計画	テーマ	内容	TBM method (7つのワーク)
第1回目 ～ 第2回目	筆記対策①	国家試験筆記合格に向けた試験と解説①	
第3回目 ～ 第4回目	筆記対策②	国家試験筆記合格に向けた試験と解説②	
第5回目 ～ 第6回目	筆記対策③	国家試験筆記合格に向けた試験と解説③	○
第7回目 ～ 第8回目	筆記対策④	国家試験筆記合格に向けた試験と解説④	
第9回目 ～ 第10回目	筆記対策⑤	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑤	
第11回目 ～ 第12回目	筆記対策⑥	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑥	○
第13回目 ～ 第14回目	筆記対策⑦	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑦	
第15回目 ～ 第16回目	筆記対策⑧	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑧	
第17回目 ～ 第18回目	筆記対策⑨	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑨	○
第19回目 ～ 第20回目	筆記対策⑩	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑩	
第21回目 ～ 第22回目	筆記対策⑪	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑪	
第23回目 ～ 第24回目	筆記対策⑫	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑫	○
第25回目 ～ 第26回目	筆記対策⑬	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑬	
第27回目 ～ 第28回目	筆記対策⑭	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑭	
第29回目 ～ 第30回目	筆記対策⑮	国家試験筆記合格に向けた試験と解説⑮	○

科目名	職業実践	学科名	国際美容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1後・2前
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○:該当 ○
担当教員		実務経験のある教員科目	○:該当
科目概要	最先端の美容技術について、インストラクターの経験をもとに具体的・実践的にわかりやすく教授してもらい、今後の各種勉強と関連性を意識し、サロン就業のモチベーションをアップさせる。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	特になし		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	オリジナルプリント		
成績評価の方法・基準	実習の履修時間、日常の受講態度		
履修に当たっての留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、挨拶や礼儀(マナー)を意識し、主体的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	カラー実習①	カラーの概論・カウンセリング
第2回目	カラー実習②	ブロッキング・薬の調合
第3回目	カラー実習③	塗布の仕方・染毛のメカニズム
第4回目	カラー実習④	塗布練習
第5回目	アップ実習①	アップ概論・デザイン
第6回目	アップ実習②	ブロッキング・編み込みの基礎
第7回目	アップ実習③	スタイルを作る①
第8回目	アップ実習④	スタイルを作る②
第9回目	シャンプー実習①	シャンプー概論・接客(言葉、あいさつなど)
第10回目	シャンプー実習②	クロスの掛け方・プレーンリンス
第11回目	シャンプー実習③	ファーストシャンプー・セカンドシャンプー
第12回目	シャンプー実習④	スキャブルマッサージ
第13回目	セット・フォト実習①	セット概論・アップ概論
第14回目	セット・フォト実習②	ウィッグで、ヘアデザインの基礎
第15回目	セット・フォト実習③	モデルに実践のセット・写真を撮る

科目名	行事	学科名	国際美容師学科
分類		配当年次・学期	1通・2通
授業時数		単位数	
授業方法		企業等との連携	○:該当
担当教員		実務経験のある 教員科目	○:該当
科目概要	各種イベント・式典・ボランティア参加や研修旅行等を通して見聞を広め、職業人としての自覚とマナー・接客技術等を学び、職場での即戦力としての経験値を高める。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	特になし		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	特になし		
成績評価の方法 ・基準	出席率		
履修に当たって の留意点	特になし		

授業計画	内容
就職決起大会	就職への決意表明
就職講演会①②	社会から求められるものを学ぶ
サロンガイダンス	県内・県外からサロンの方から説明を聞く
オリエンテーション	コミュニケーション能力を高める
国内研修旅行	美容知識を学ぶ
校内コンテスト	自分の技術レベルを学ぶ
スポーツ大会	カラダを動かし身体能力を高める
就職マナー研修	就職への心構えを学ぶ
性犯罪防止セミナー	性犯罪の怖さを学ぶ
フィールドワーク	美容の知識や最新技術を学ぶ
コンサート	芸術的感性を磨く
二十歳の集い(成人の祝い)	日本の伝統を学ぶ
海外研修	見聞を広め自主性を伸ばす
CSCP研修	個人と組織の問題解決能力を学ぶ
薬物乱用防止セミナー	薬物の怖さを学ぶ
美容研修	最新の技術と接客マナーを学ぶ